

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第166期第3四半期(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)
【会社名】	尾張精機株式会社
【英訳名】	OWARI PRECISE PRODUCTS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 木村進一
【本店の所在の場所】	名古屋市東区矢田三丁目16番85号
【電話番号】	(052)721 - 7131(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部部长 児玉啓二
【最寄りの連絡場所】	愛知県尾張旭市下井町はねうち2345番地の1
【電話番号】	(0561)53 - 4121(代表)
【事務連絡者氏名】	総務部部长 児玉啓二
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所  (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第166期 第3四半期連結累計期間	第166期 第3四半期連結会計期間	第165期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高 (千円)	12,883,404	3,695,568	19,812,010
経常利益 (千円)	503,910	60,968	1,476,369
四半期(当期)純利益 (千円)	277,894	19,886	795,051
純資産額 (千円)		8,682,584	8,874,167
総資産額 (千円)		13,441,715	14,968,235
1株当たり純資産額 (円)		758.37	766.31
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	24.17	1.74	71.91
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		64.4	59.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	968,458		1,194,660
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	910,987		1,105,388
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	393,197		377,674
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)		1,095,062	1,522,826
従業員数 (名)		487	473

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれて  
いる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成20年12月31日現在

従業員数(名)	487(177)
---------	----------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員（パートタイマー及び短期の受入出向社員）の当第3四半期連結会  
計期間の平均雇用人員であります。

### (2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数(名)	322(156)
---------	----------

(注) 1 従業員数は、就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでおります。）  
であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員（パートタイマー及び短期の受入出向社員）の当第3四半期会計期  
間の平均雇用人員であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	生産高(千円)
精密鍛造品	2,523,372
ねじ類	1,521,595
航空機部品	62,478
合計	4,107,445

(注) 1 金額は、受注価格で表示しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注実績

当第3四半期連結会計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	受注高(千円)	受注残高(千円)
精密鍛造品	2,359,125	975,921
ねじ類	1,314,253	800,022
航空機部品	84,597	164,566
合計	3,757,975	1,940,509

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	販売高(千円)
精密鍛造品	2,251,241
ねじ類	1,352,336
航空機部品	91,990
合計	3,695,568

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第3四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
アイシン・エーアイ株式会社	924,431	25.0
マツダ株式会社	544,067	14.7
トヨタ自動車株式会社	480,387	13.0

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の概況

当第3四半期連結会計期間のわが国経済は、米国発の深刻な金融危機が世界に波及した結果、世界経済が急激に減速した影響を受け、同時に円高も進行したことにより急速に悪化しました。

こうした状況のもと当社は、お客様に信頼をいただくため、競争力の高い高品質の製品づくりと販売強化に努めましたが、当第3四半期連結会計期間の売上高は3,695百万円となりました。

利益につきましては、ムダの排除、ロスコストの低減、物流改善などを進めましたが、営業利益は157百万円、経常利益は60百万円、四半期純利益は19百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、第2四半期連結会計年度末と比較して874百万円減少し、13,441百万円となりました。この主な原因は、売掛金の減少、および保有株式の時価評価額の減少などです。

負債は、第2四半期連結会計年度末と比較して678百万円減少し、4,759百万円となりました。この主な原因は、仕入債務の減少などによりです。

純資産は、195百万円減少し、8,682百万円となりました。この主な原因は、為替換算調整勘定およびその他有価証券評価差額金の減少によりです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第2四半期連結会計期間末に比べ138百万円減少し、1,095百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益67百万円、減価償却費197百万円、売掛債権の減少、その他負債の増加による資金の増加に対し、賞与の支払による賞与引当金の減少105百万円およびたな卸資産の増加、仕入債務の減少等による資金の減少の結果139百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における投資活動に使用した資金は99百万円となりました。これは主に設備投資によるものであります。

当第3四半期連結会計期間における財務活動に使用した資金は135百万円となりました。これは、借入金の返済、自己株式の取得及び配当金の支払によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における研究開発費の金額は1,172千円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第3四半期連結会計期間内において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,052,000
計	28,052,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,659,500	11,659,500	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	11,659,500	11,659,500		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年12月31日		11,659		1,093,978		757,360

#### (5) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握していません。



(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、実質株主が把握できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成20年9月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 163,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,258,000	11,258	
単元未満株式	普通株式 238,500		1単元(1,000株)未満株式
発行済株式総数	11,659,500		
総株主の議決権		11,258	

- (注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」本欄は全て当社保有の自己株式であります。  
2 「完全議決権株式(その他)」本欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権1個)が含まれております。  
3 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式627株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 尾張精機株式会社	名古屋市東区矢田三丁目 16番85号	163,000		163,000	1.40
計		163,000		163,000	1.40

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高(円)	316	363	335	328	311	327	275	215	195
最低(円)	290	301	320	303	293	271	177	187	148

(注) 最高・最低株価は、名古屋証券取引所(市場第二部)によるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。



## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスにより四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,828,357	2,201,601
受取手形及び売掛金	3 2,977,521	3,874,819
製品	688,530	534,239
商品	152,786	143,324
原材料	468,544	351,304
仕掛品	424,047	464,139
貯蔵品	321,747	339,422
繰延税金資産	179,133	275,976
その他	201,496	655,316
貸倒引当金	533	61
流動資産合計	7,241,631	8,840,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,418,743	1,491,033
機械装置及び運搬具(純額)	2,545,987	2,393,594
土地	696,731	715,951
その他(純額)	219,797	78,235
有形固定資産合計	1 4,881,259	1 4,678,814
無形固定資産	2,622	2,627
投資その他の資産		
投資有価証券	599,155	834,419
繰延税金資産	24,844	25,913
前払年金費用	465,488	364,379
その他	229,513	224,797
貸倒引当金	2,800	2,800
投資その他の資産合計	1,316,201	1,446,710
固定資産合計	6,200,083	6,128,152
資産合計	13,441,715	14,968,235

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 2,535,791	3,334,464
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	263,700	378,600
未払費用	489,887	555,856
未払法人税等	103,390	520,716
未払消費税等	29,469	73,031
賞与引当金	161,175	282,800
役員賞与引当金	13,200	700
製品保証引当金	6,000	119,000
設備関係支払手形	116,165	97,586
その他	508,581	64,387
流動負債合計	4,327,361	5,527,142
固定負債		
長期借入金	156,250	315,000
繰延税金負債	105,897	116,297
退職給付引当金	37,213	50,142
役員退職慰労引当金	61,678	85,485
その他	70,729	-
固定負債合計	431,769	566,925
負債合計	4,759,130	6,094,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,978	1,093,978
資本剰余金	757,360	757,360
利益剰余金	6,927,478	6,742,053
自己株式	81,017	52,973
株主資本合計	8,697,800	8,540,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,958	264,200
為替換算調整勘定	169,563	33,086
評価・換算差額等合計	45,605	297,286
少数株主持分	30,390	36,461
純資産合計	8,682,584	8,874,167
負債純資産合計	13,441,715	14,968,235

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	12,883,404
売上原価	11,256,797
売上総利益	1,626,606
販売費及び一般管理費	
販売費	570,659
一般管理費	444,479
販売費及び一般管理費合計	1,015,138
営業利益	611,468
営業外収益	
受取利息	13,797
受取配当金	12,976
その他	16,047
営業外収益合計	42,821
営業外費用	
支払利息	5,651
為替差損	141,151
その他	3,576
営業外費用合計	150,379
経常利益	503,910
特別利益	
賞与引当金戻入額	18,390
製品保証引当金戻入額	7,031
固定資産売却益	112
投資有価証券売却益	411
その他	60
特別利益合計	26,007
特別損失	
固定資産売却損	7,375
固定資産除却損	1,291
減損損失	8,192
特別損失合計	16,860
税金等調整前四半期純利益	513,057
法人税、住民税及び事業税	51,987
法人税等調整額	181,859
法人税等合計	233,847
少数株主利益	1,316
四半期純利益	277,894

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	3,695,568
売上原価	3,218,128
売上総利益	477,440
販売費及び一般管理費	
販売費	178,057
一般管理費	141,554
販売費及び一般管理費合計	319,611
営業利益	157,828
営業外収益	
受取利息	1,499
受取配当金	4,953
その他	8,103
営業外収益合計	14,555
営業外費用	
支払利息	3,429
為替差損	107,553
その他	433
営業外費用合計	111,416
経常利益	60,968
特別利益	
製品保証引当金戻入額	7,031
固定資産売却益	70
その他	60
特別利益合計	7,163
特別損失	
固定資産売却損	592
特別損失合計	592
税金等調整前四半期純利益	67,539
法人税、住民税及び事業税	47,077
法人税等調整額	85,764
法人税等合計	38,687
少数株主利益	8,966
四半期純利益	19,886

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	513,057
減価償却費	593,985
減損損失	8,192
貸倒引当金の増減額(は減少)	471
賞与引当金の増減額(は減少)	121,624
役員賞与引当金の増減額(は減少)	12,500
製品保証引当金の増減額(は減少)	113,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	12,928
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	23,807
受取利息及び受取配当金	26,774
支払利息	5,651
為替差損益(は益)	36,118
有形固定資産除売却損益(は益)	8,554
投資有価証券売却損益(は益)	411
売上債権の増減額(は増加)	873,948
たな卸資産の増減額(は増加)	256,467
仕入債務の増減額(は減少)	790,247
未払消費税等の増減額(は減少)	43,561
前払年金費用の増減額(は増加)	101,109
その他の資産の増減額(は増加)	466,667
その他の負債の増減額(は減少)	373,643
小計	1,402,860
利息及び配当金の受取額	26,774
利息の支払額	5,651
法人税等の支払額	455,524
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>968,458</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	655,696
定期預金の払戻による収入	601,175
有形固定資産の取得による支出	832,515
有形固定資産の売却による収入	1,478
投資有価証券の取得による支出	899
投資有価証券の売却による収入	629
貸付けによる支出	4,000
貸付金の回収による収入	6,090
その他の支出	54,054
その他の収入	26,803
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>910,987</b>



(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年12月31日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	100,000
長期借入金の返済による支出	273,650
自己株式の売却による収入	668
自己株式の取得による支出	29,029
配当金の支払額	91,186
財務活動によるキャッシュ・フロー	393,197
現金及び現金同等物に係る換算差額	92,036
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	427,764
現金及び現金同等物の期首残高	1,522,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,095,062

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)  
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
会計処理の原則及び手続の変更 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、棚卸資産の評価基準については、売価還元原価法から売価還元原価法(収益性が低下した場合は正味売却価額まで簿価を切り下げる方法)に変更しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

【簡便な会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
法人税等の算定方法 提出会社におきましては、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
税金費用の計算 連結子会社につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実行税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

<p>当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)</p>
<p>(有形固定資産の耐用年数の変更)</p> <p>当社の機械装置については、従来耐用年数を4～13年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、税制改正を契機とし見直しを行った結果4～10年に変更しました。</p> <p>これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ57,092千円減少しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

項目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額	15,713,219千円	15,382,170千円
2 債務保証 借入債務 合克薩斯精工(嘉興)有限公司	103,351千円	118,086千円
3 連結会計期間末日満期手形の処理	<p>四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。</p> <p>なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末残高に含まれております。</p> <p>受取手形 66,363千円 設備購入支払手形 55,638千円</p>	

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額	
(1) 販売費	
賞与引当金繰入額	19,115千円
退職給付費用	6,693千円
(2) 一般管理費	
賞与引当金繰入額	14,597千円
役員賞与引当金繰入額	13,200千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,004千円
退職給付費用	3,767千円

第3四半期連結会計期間

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額	
(1) 販売費	
賞与引当金繰入額	16,500千円
退職給付費用	2,416千円
(2) 一般管理費	
賞与引当金繰入額	9,250千円
役員賞与引当金繰入額	4,400千円
役員退職慰労引当金繰入額	3,294千円
退職給付費用	1,158千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		
	期末残高(千円)	左記のうち現金及び現金同等物(千円)
現金及び預金残高	1,828,357	1,095,062
短期借入金勘定	363,700	
現金及び現金同等物の期末残高		1,095,062
(注) 現金及び預金残高の期末残高と現金及び現金同等物の差額は、預入期間が3か月を超える定期預金によるものであります。		

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	11,659,500

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	250,573

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	57,664	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金
平成20年11月14日 取締役会	普通株式	34,487	3	平成20年9月30日	平成20年12月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高(千円)	1,093,978	757,360	6,742,053	52,973	8,540,419
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当(千円)			92,151		92,151
四半期純利益(千円)			277,894		277,894
自己株式の取得(千円)				29,029	29,029
自己株式の処分(千円)			317	986	668

当第3四半期連結会計期間末までの 変動額合計(千円)			185,424	28,043	157,380
当第3四半期連結会計期間末残高(千 円)	1,093,978	757,360	6,927,478	81,017	8,697,800

平成20年8月から第3四半期連結会計期間末までに市場から26,237千円を取得いたしました。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

自動車等の輸送用機器部品に係る売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

( 1 株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
758.37円	766.31円

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第3四半期連結累計期間

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	24.17円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	277,894
普通株式に係る四半期純利益(千円)	277,894
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,495

第3四半期連結会計期間

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益	1.74円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	19,886
普通株式に係る四半期純利益(千円)	19,886
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,445



(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

平成20年11月14日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主に対し、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議し、配当を行っております。

配当金の総額	34,487千円
1株当たり中間配当額	3.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成20年12月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月9日

尾張精機株式会社  
取締役会 御中

監査法人 **コスモス**

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 新開 智之

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 富田 昌樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている尾張精機株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、尾張精機株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

追加情報に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より機械装置について耐用年数の変更を行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。